

FY2018 / GGP21

FY2018 RESULTS BRIEFING / GLOBAL GROWTH PLAN 2021



証券コード 5985

2019年3月期 決算報告 / 中期経営計画

2019年6月6日

代表取締役社長 大谷 忠雄



SUNCALL RESULTS BRIEFING INDEX

- 会社概要
- 2019年3月期 決算要約
- 中期経営計画「GGP21」
- 2020年3月期 業績予想
- コーポレートガバナンス

会社概要

Business Outline



京都本社

社名	： サンコール株式会社 SUNCALL CORPORATION
設立	： 1943年6月
資本金	： 48億8百万円
本社	： 京都市右京区梅津西浦町14番地
証券取引所	： 東京証券取引所 第一部
従業員数	： 2,336名(連結) 599名(単体)
主要株主	： 伊藤忠商事(株) 26.3% 日本マスタートラスト信託銀行(株) (退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口) 15.7%

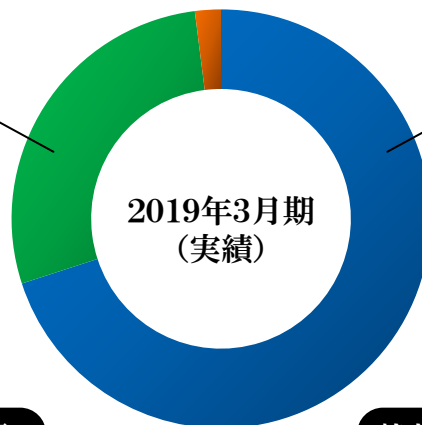
(2019年3月末時点)

28%

電子情報通信分野

70%

自動車分野



HDD部品



HDD
サスペンション

プリンター部品



ローラー



トルクリミッター
スプリングクラッチ

デジトロ部品



光コネクタ



光アダプタ



プローブピン

精密機能材料



弁パネ用線



精密异形線

精密機能部品



弁パネ



リングギア



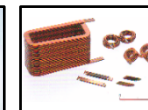
パルプコッター



异形リング



ぜんまいパネ



リアクターコイル



モーターコア部品

蓄積されたノウハウと技術による 実績と信頼

金型 内製

引抜き加工用金型(ダイス)の内製化により、より複雑な形状の精密異形製品を創出。お客さまの要求精度を満たしながら短納期化を実現。

品質 保証

高精度部品のものでづくりで得た計測ノウハウを応用展開。独自のセンサー応用技術を活かしたインライン計測システムと制御技術を融合させ、品質・生産性を飛躍的に向上。

材料 開発

鋼材の成分設計から関与し、お客さまの要求仕様を満たす高応力や高耐久性に優れた高強度材料を独自に開発。

表面 処理技術

窒化処理や多段ショット等の表面処理技術を駆使し、高い疲労強度を実現。

高度な精密塑性加工技術

材料から製品までの一貫生産体制

高度な精密塑性加工技術と材料から製品までの一貫生産工程で社会のニーズに応える製品を展開



海外拠点

国・地域		出資比率	生産品目
アメリカ	インディアナ州	100%	弁ばね、リングギアほか
	サウスカロライナ州	100%	光通信部品(販売拠点)
	テキサス州	100%	
メキシコ	アグアスカリエンテス州	100%	弁ばね用材料、リングギア
	アグアスカリエンテス州	50%	シートベルト用ぜんまいばね
中国	広州	100%	弁ばね、リングギアほか
	広州	100%	弁ばね用材料(販売拠点)
	佛山	25%	弁ばね用材料
	天津	100%	リングギア
	深圳	100%	プリンター用ローラー、光通信部品ほか
	香港	100%	
タイ	チョンブリ県	100%	弁ばね、リングギア シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
ベトナム	ハノイ	100%	プリンター用ローラーほか
韓国	梁山	49%	シートベルト用ぜんまいばね材料
フィリピン	マニラ	100%	HDD用サスペンション(駐在員事務所)

7カ国

15拠点

2019年3月期 決算要約

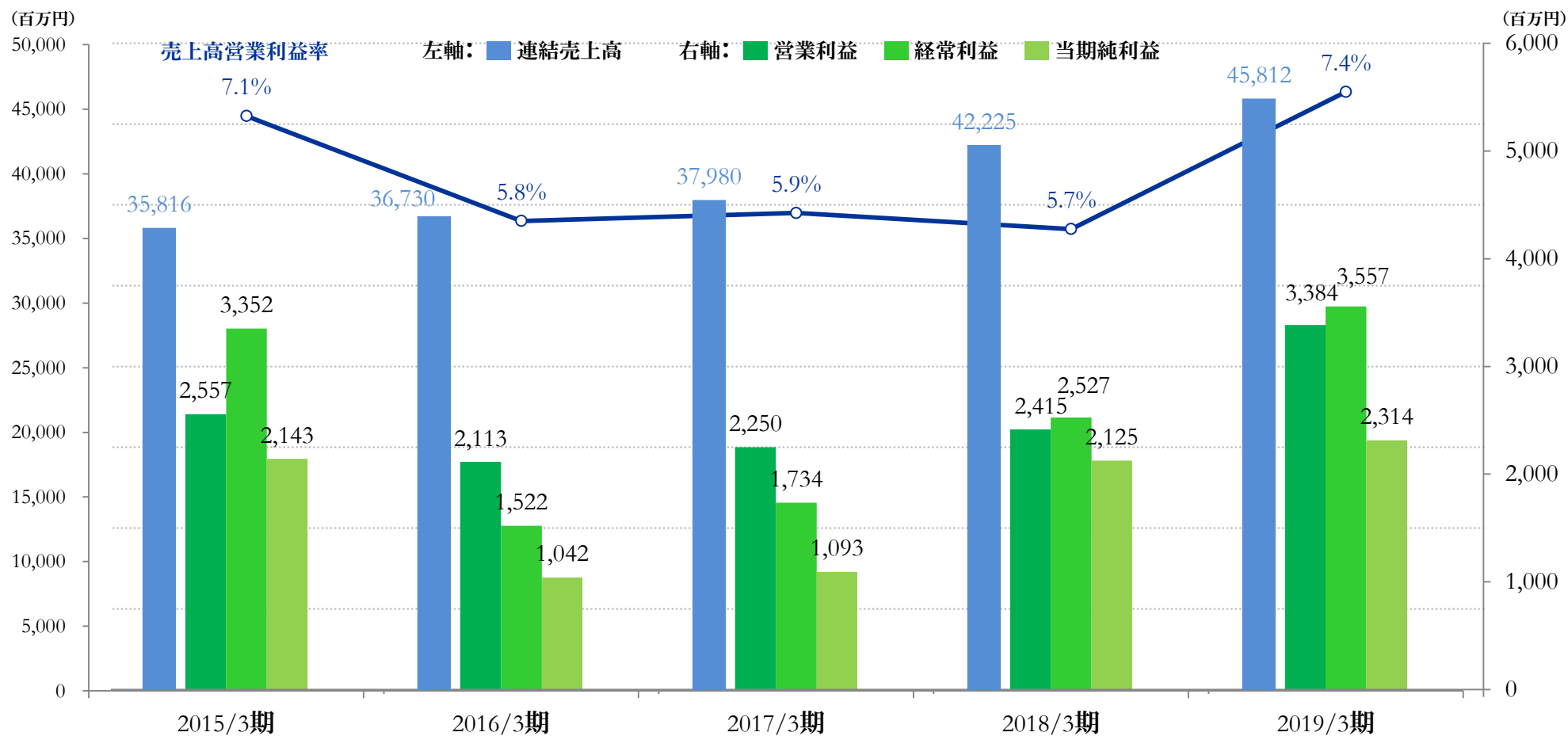
Financial Summary

2019年3月期 決算要約(連結)

(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期		
	実績	実績	前期比増減額	前期比増減率
売上高	42,225	45,812	3,587	8.5%
営業利益	2,415	3,384	969	40.1%
経常利益	2,527	3,557	1,030	40.8%
当期純利益	2,125	2,314	189	8.9%
一株当たり利益	66.80円	72.59円	5.79	8.7%
平均為替レート				
円 / USD	110.86円	110.91円	-	-
円 / EURO	129.70円	128.40円		

- POINT
- 売上高 : 自動車分野で主力の弁ばね用鋼材やエンジン用部品に加えHV関連部品が増加
電子情報通信分野ではサーバー向け高密度HDD用サスペンションの需要が増加
 - 営業利益 : HDD用サスペンションの増収と原価低減、メキシコ子会社や東南アジア子会社が増益基調
 - 経常利益 : 受取配当金や為替差益により増加
 - 当期純利益 : 特別損失として在外子会社の工場移転関連費用や固定資産廃棄損等を計上

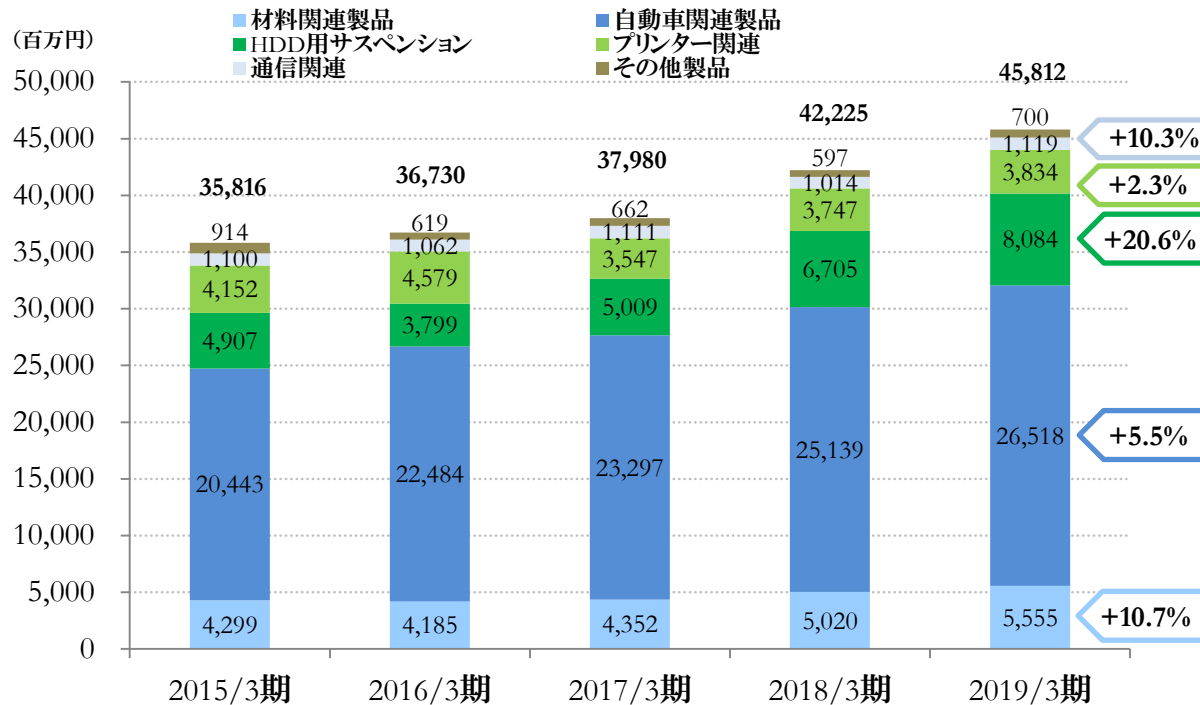
2019年3月期 業績推移



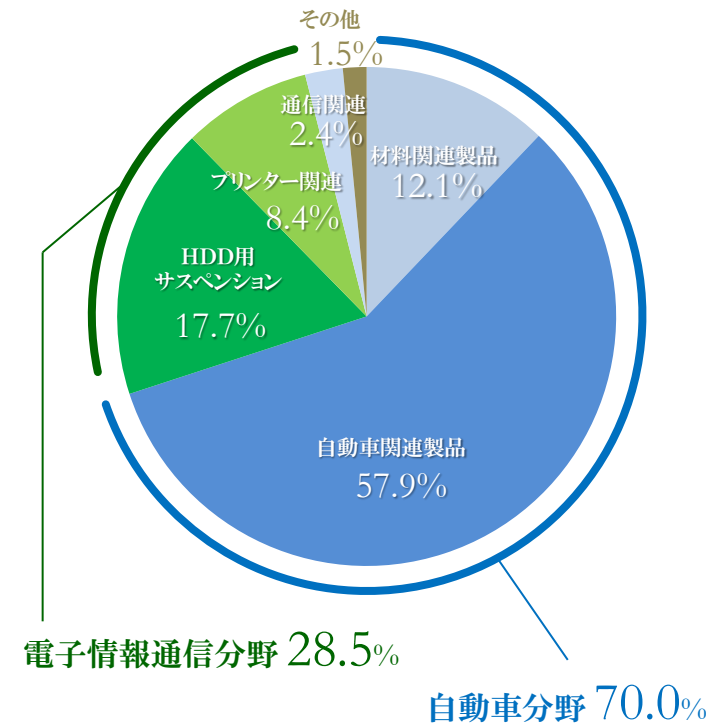
POINT ●連結売上高 : 7期連続の増収(過去最高)を達成
 ●営業利益 : 3期連続の増益を達成

2019年3月期 製品区分別売上推移

製品区分別連結売上高の推移



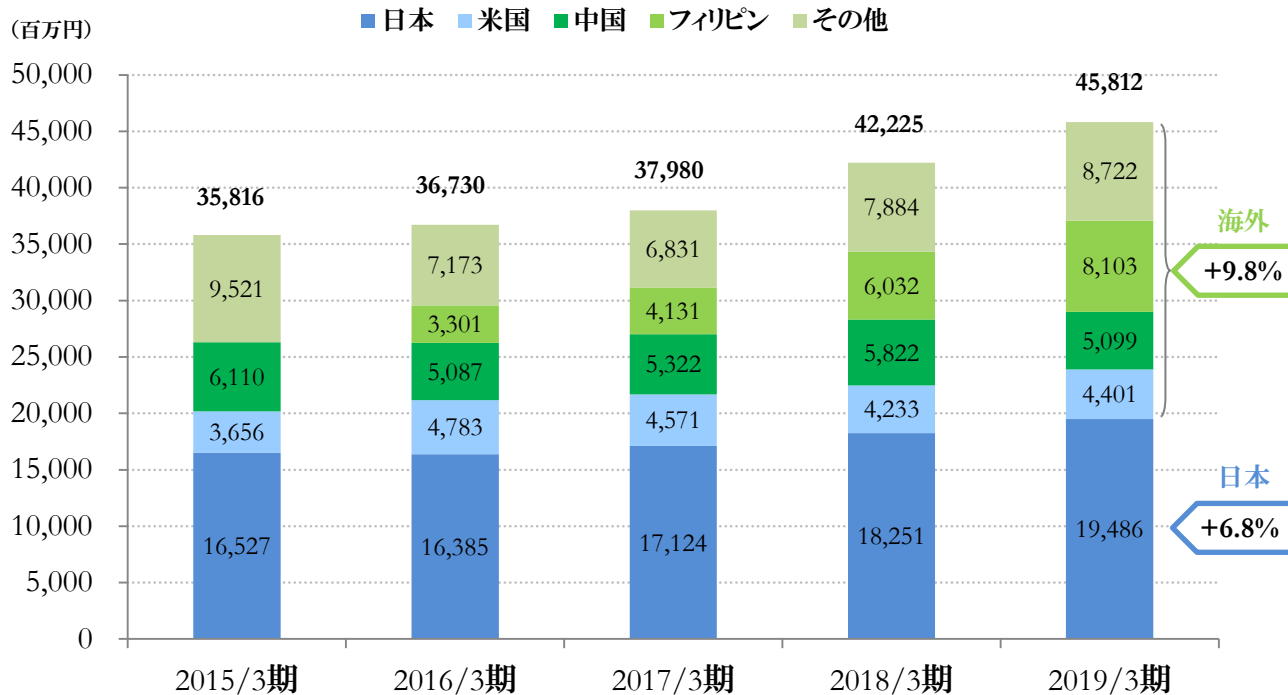
製品区分別連結売上高構成比(2019/3期)



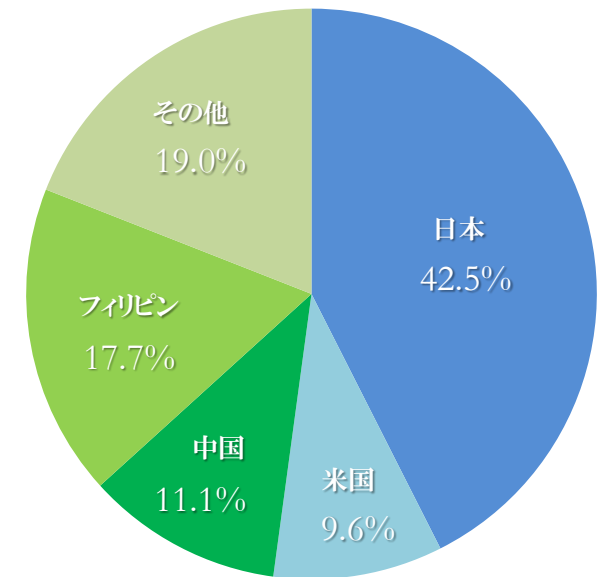
- POINT
- 自動車分野 : 国内外における自動車分野の販売は概ね好調に推移
 - 電子情報通信分野 : HDDサスペンションの収益性改善等が増収増益に寄与

2019年3月期 地域別売上推移

地域別連結売上高の推移



地域別連結売上高構成比(2019/3期)



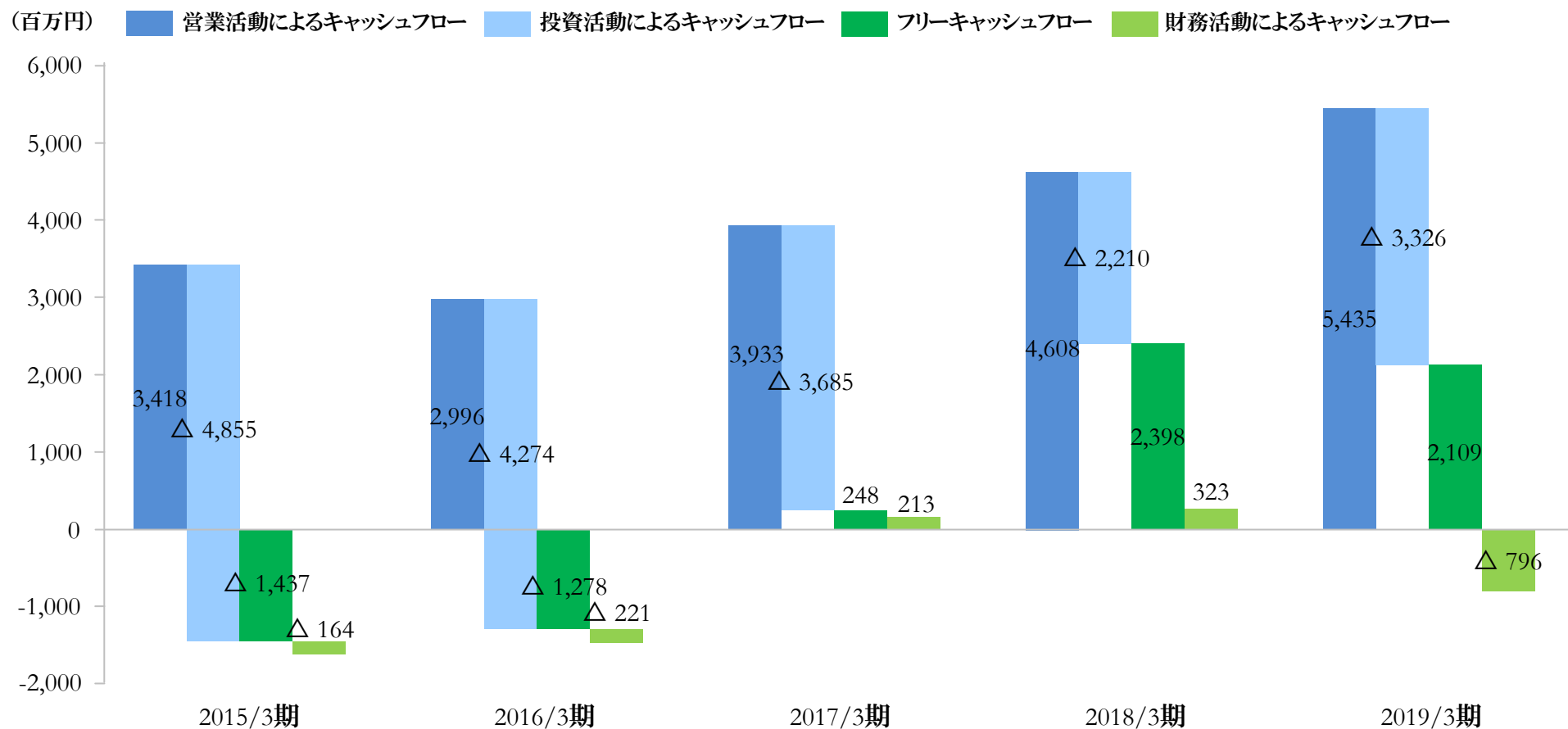
POINT

- 日本 : 韓国・南米市場向け材料関連が堅調に推移。エンジン用部品、HV関連部品、安全装置用部品等の自動車関連製品も増加。電子情報通信分野ではサーバー向けHDD用サスペンションの増収と原価低減効果が大きく寄与。
- 米国 : メキシコ子会社の弁ばね用鋼材の販売拡大/米国子会社の通信関連や自動車用弁ばねが順調に推移
- アジア : 中国子会社では年後半に減速感も、タイ子会社の自動車用エンジン部品やプリンター関連の販売が高水準で推移。ベトナム子会社のプリンター関連も好調。フィリピンではHDD用サスペンション事業が好調。

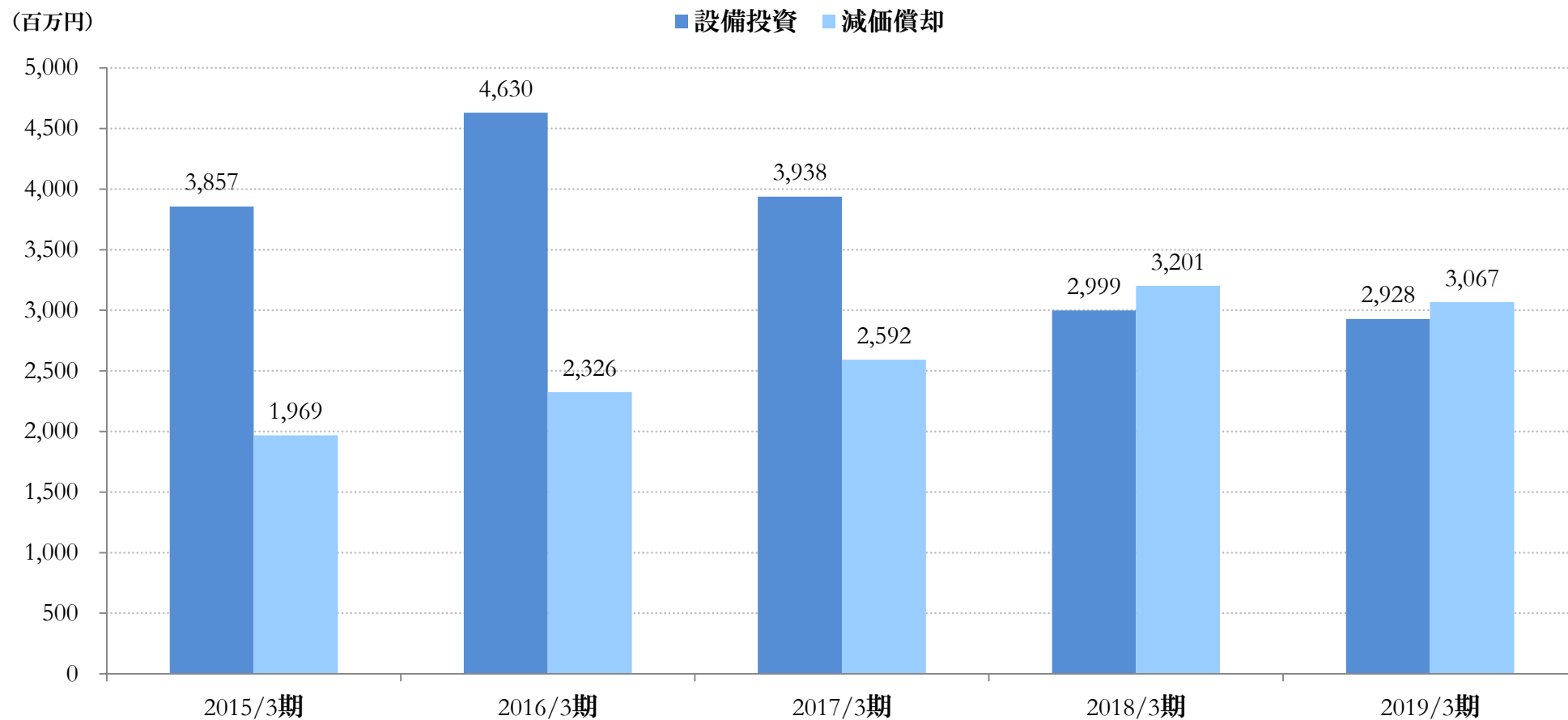
2019年3月期 連結財政状況

(単位:百万円)		2018年3月期末	2019年3月期末	
		実績	実績	前期末比増減額
資	産 合 計	49,257	50,481	+1,224
	現 預 金	10,667	11,861	+1,194
	売 上 債 権	9,618	9,472	▲146
	棚 卸 資 産	5,532	5,566	+34
	そ の 他 流 動 資 産	507	550	+43
	固 定 資 産	22,931	23,029	+98
負	債 合 計	14,086	14,201	+115
	流 動 負 債	10,241	10,694	+453
	固 定 負 債	3,844	3,506	▲338
純	資 産 合 計	35,171	36,280	+1,109
負 債	純 資 産 合 計	49,257	50,481	+1,224

2019年3月期 連結キャッシュ・フローの状況



2019年3月期 設備投資・減価償却の状況



※上記設備投資額については完成ベース

中期経営計画

GGP21

(Global Growth Plan 21)

2019年3月期(前中計最終年度)業績

連結売上高 **45,812** 百万円

営業利益 **3,384** 百万円

営業利益率 **7.4** %

電子情報通信関連事業

経営資源の集中と開発・営業力の強化



- サスペンション事業でのニアラインドライブへの参入と生産能力増強
- 光通信事業での米国販売拠点の拡大

自動車関連事業

既存事業の基盤強化と拡大



- ワイヤー事業で日本、中国、メキシコ3拠点生産を確立
- シートベルト用ゼンマイばね事業の拡大
 - ・ゼンマイばね材料の生産拠点を韓国に統合
 - ・ゼンマイばねの生産拠点をメキシコに設立
- 弁ばねやリングギアなど既存コア事業の生産能力増強

新規事業への取り組み

精密塑性加工技術と電子情報通信部品製造技術を応用した製品開発、成長市場／自動車電動化、医療・環境・エネルギー分野への新規事業開拓



- シャントバスバーやシャントセンサーの量産化(EV化対応)
- 歩行訓練支援ロボットの販売開始
- 当社製竹炭を使用した顔料の量産化(漆黒性と絶縁性が評価)

コア技術を応用した新たな事業・価値の創出と
持続的且つ強固な事業ポートフォリオの確立。

自動車
電動化

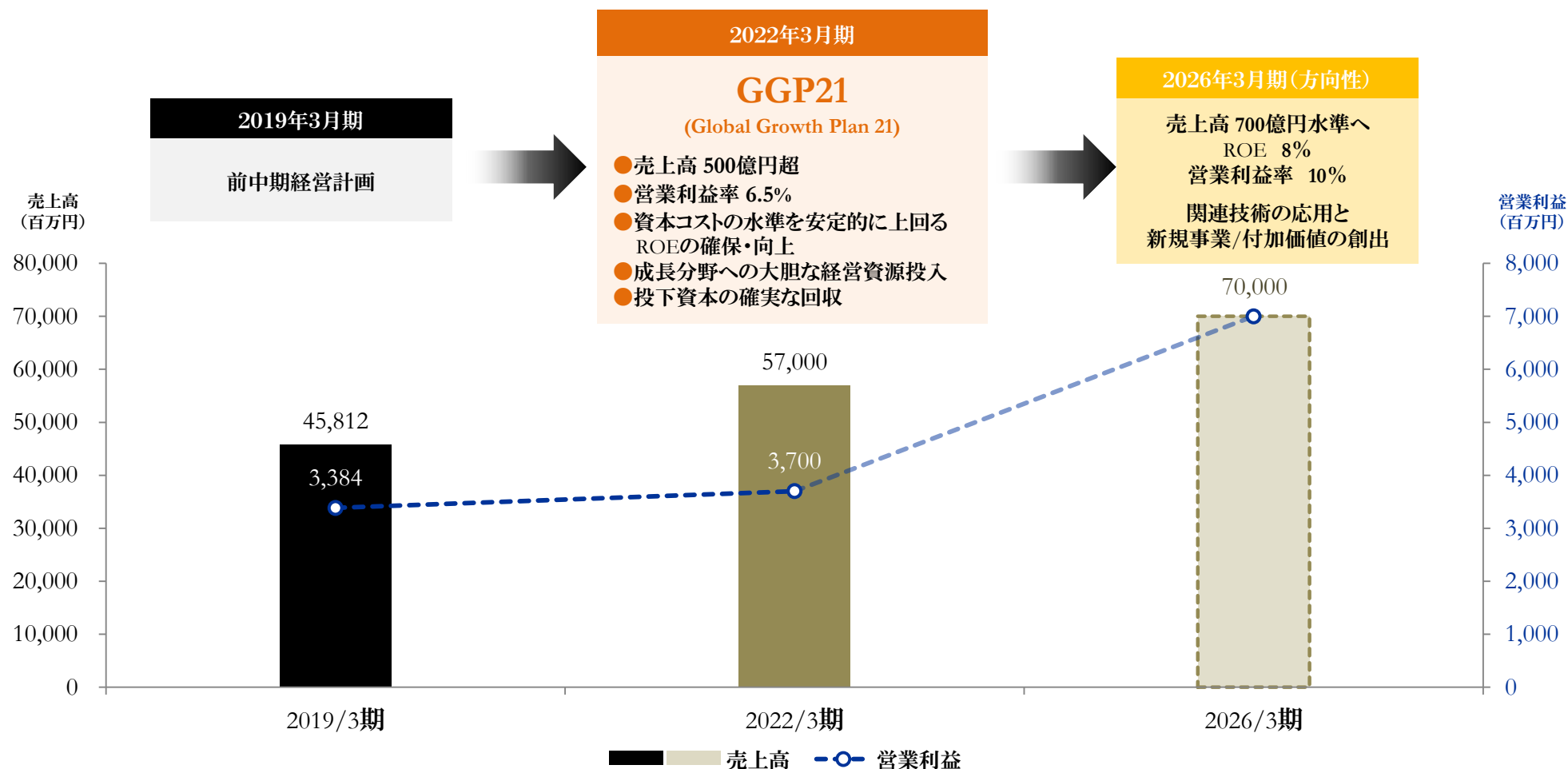
環境
エネルギー

医療
介護

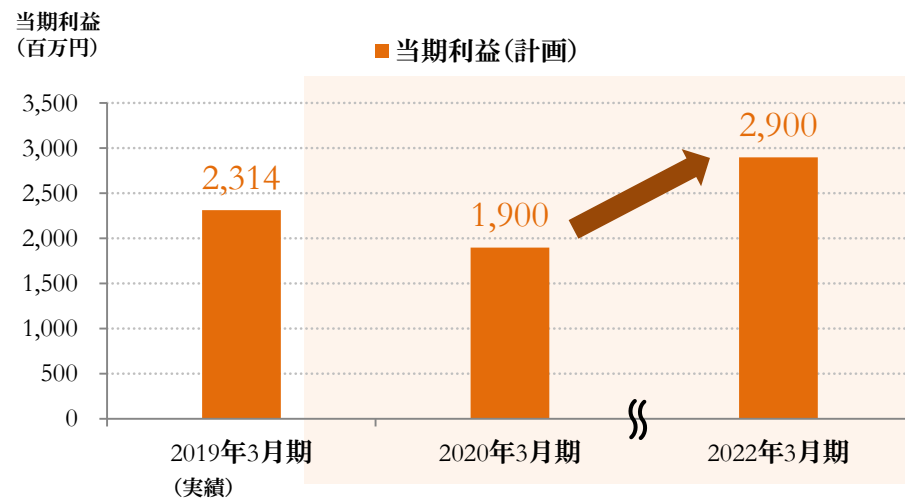
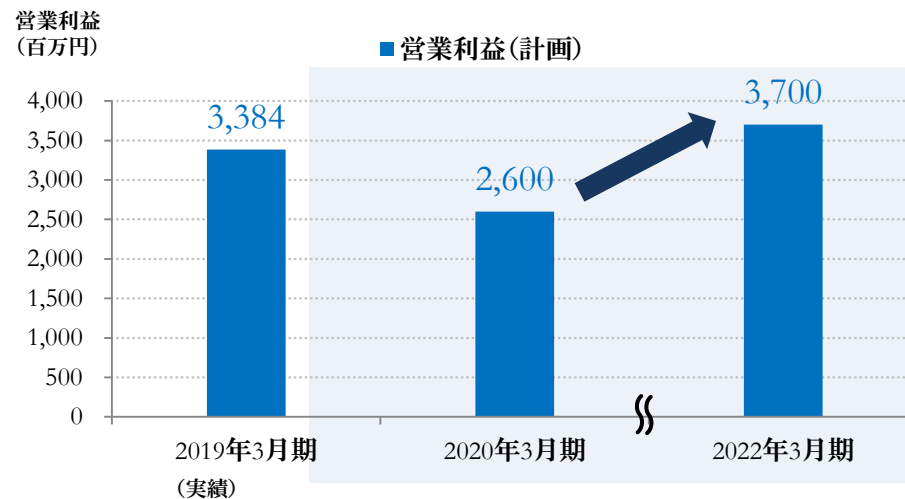
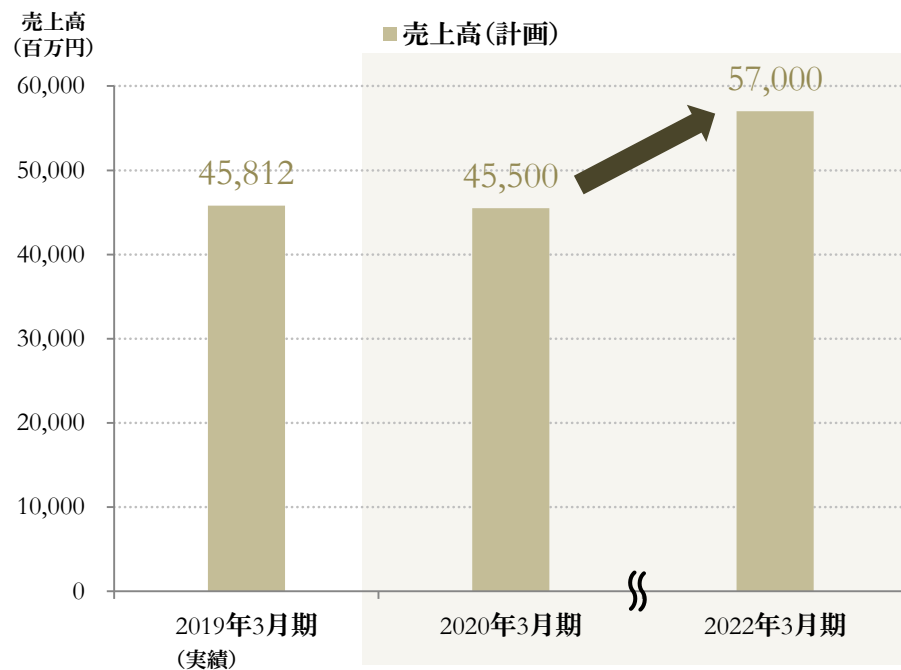
既存事業

SUNCALLのコア技術

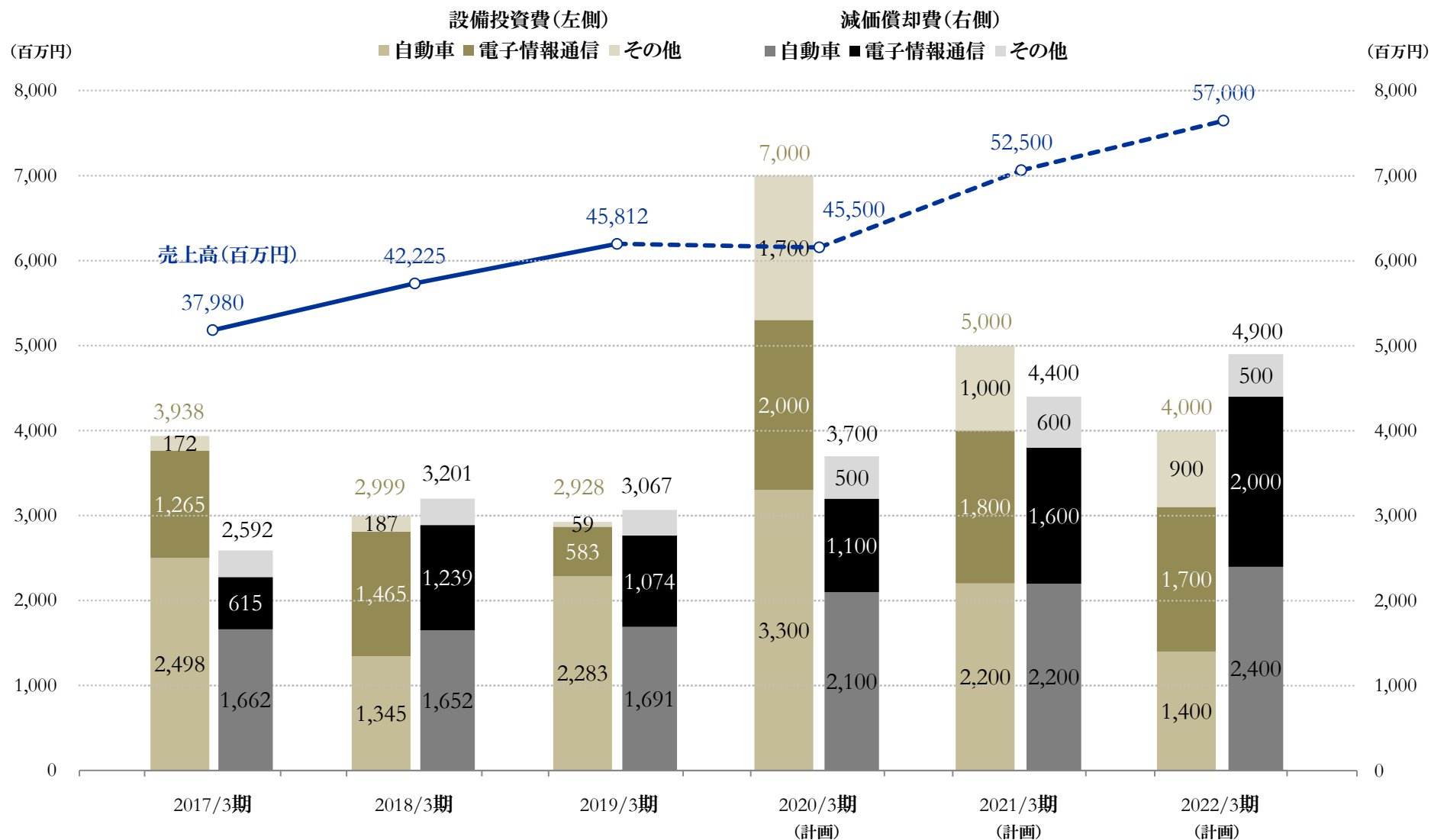
持続的成長に向けた事業ポートフォリオの確立。 実効的な投資戦略の加速による中計GGP21からのさらなる飛躍。



GGP21 数値目標(売上高 / 営業利益 / 当期利益)



GGP21 数値目標(設備投資費 / 減価償却費)



※上記設備投資額については完成ベース

GGP21

売上高
500億円超

営業利益率
6.5%

資本コスト(当社想定5.8%)
の水準を安定的に
上回るROEの
確保・向上

配当性向
30%~40%
当期純利益25億円まで→30%
当期純利益25億円超→40%
配当下限 20円

成長分野への
経営資源投入
160億円
(今中計期間内設備投資計画)

重点戦略1

コア事業における
高需要分野へ継続投資

重点戦略2

成長性の高い分野への
経営資源の投入

重点戦略3

次世代主力事業の
育成と深耕

財務戦略

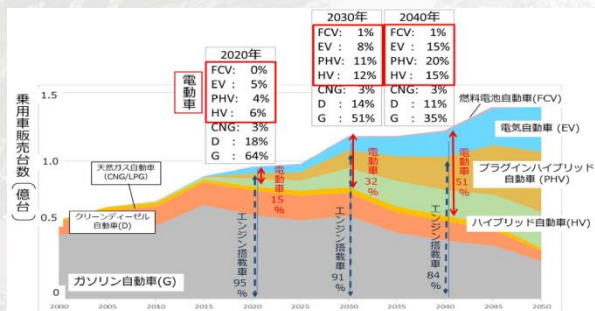
新規事業・投資案件の基準適正化

事業を取り巻く環境の変化への対応



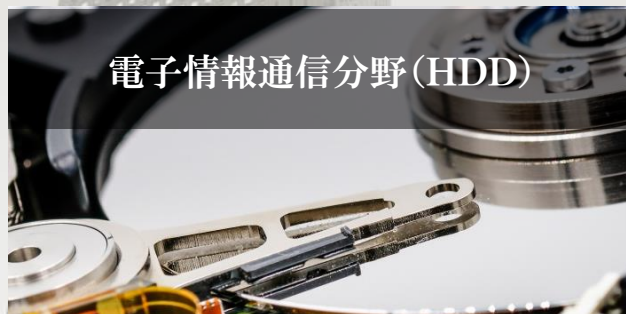
自動車分野

IEAが示した技術普及シナリオ



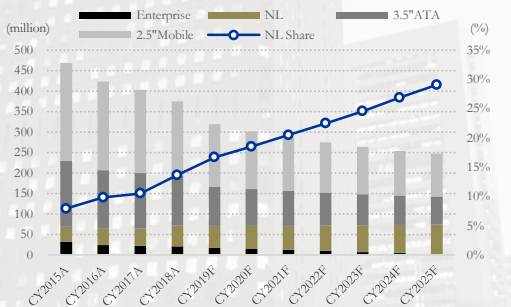
(出所) IEA「ETP(Energy Technology Perspectives)2017」に基づき作成
経済産業省 自動車新時代戦略会議(第1回)資料より

EV普及には長い期間が必要。
HV/PHVにはエンジンが搭載される。
エンジン搭載車が占める割合は依然大きく、
エンジン・ミッション関連ビジネスは底堅い需要が見込まれる。



電子情報通信分野(HDD)

HDD市場の長期トレンドおよび
NLドライブの位置づけ(出荷数量ベース)



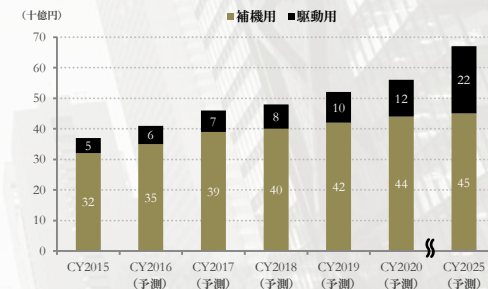
(出所) テクノ・システム・リサーチ

通信データ量の増加に伴い拡大するデータセンターにおいて、HDDシェアはSSDと比較しても高水準を維持。なかでもニアラインHDD向けの需要は引き続き成長が見込まれる。



次世代分野

用途別車載電流センサー世界市場の推移と予測



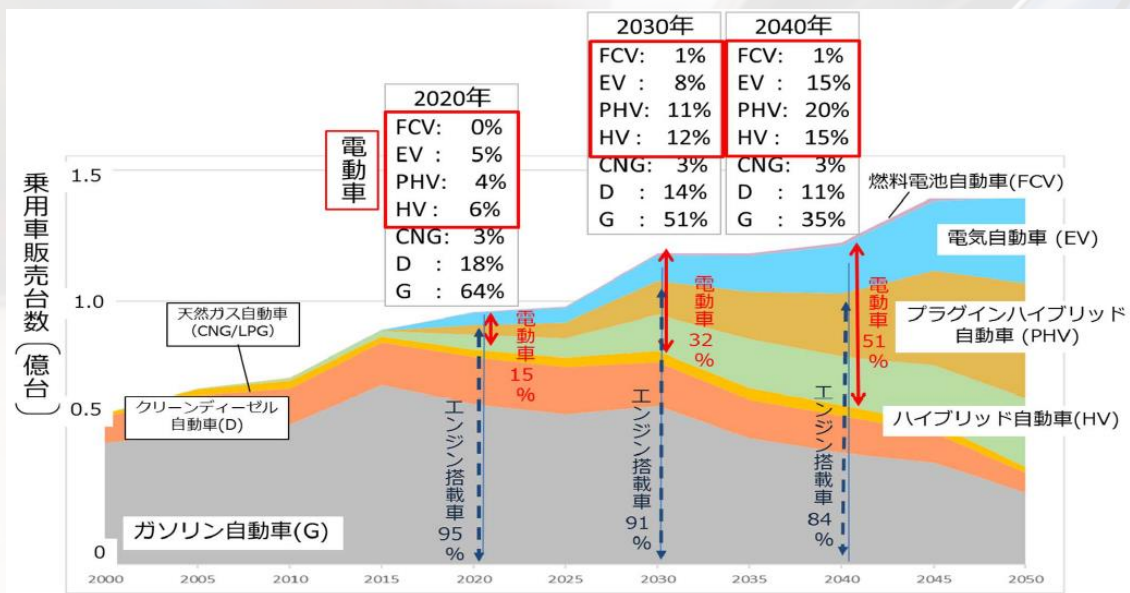
(出所) 矢野経済研究所「車載パワーマネジメントシステム&関連デバイス市場2016」
注: メーカー出荷金額ベース

自動車電動化の流れを受け、自動車用電流センサー市場は増加傾向。市場のなかで大きな割合を占める補機バッテリーで使用されるシャントセンサーについても大きな需要が見込まれる。

事業や地域ごとに定めたハードルレート、NPV、IRRを用いて成長性を見極めと投資判断を実施。

※NPV (Net Present Value)・・・正味現在価値 IRR (Internal Rate of Return)・・・内部収益率

顧客ニーズと成長性を的確に捉えた投資を継続。



(出所) IEA「ETP(Energy Technology Perspectives)2017」に基づき作成
経済産業省 自動車新時代戦略会議(第1回)資料より

電動化が進むも、
HV/PHVにはエンジンが搭載され、
依然エンジン搭載車が占める割合は大きい。

コア事業における高需要分野への継続投資

弁ばね
リングギア
等



ATミッション機構用
デイトスプリング
可変バルブタイミング
機構用渦巻きばね
変速機電子制御用
プレス部品
等

シートベルト用
ぜんまい
等



顧客需要に応える投資を継続
拡大見込まれる分野は設計や製造能力を強化

伊藤忠商事のチャネルも活用しながら
ポテンシャルの高い地域への展開を推進。



高い需要が見込まれる大容量ニアラインHDDサスペンションに特化。
大容量とGBコストの安さでSSDに対する優位性を確保。



ニアラインHDDとは

NL (nearline = near online) の意味はオンラインとオフラインの間という意味であり、NLドライブはオンラインストレージに近い製品カテゴリ。
2007年ごろから3.5”ATAのハイエンド製品として存在しており、HDDの特徴である”大容量”と”GBコストの安さ”が最大限に活かせる製品として、データセンター需要の増加に伴い重要性が増している。

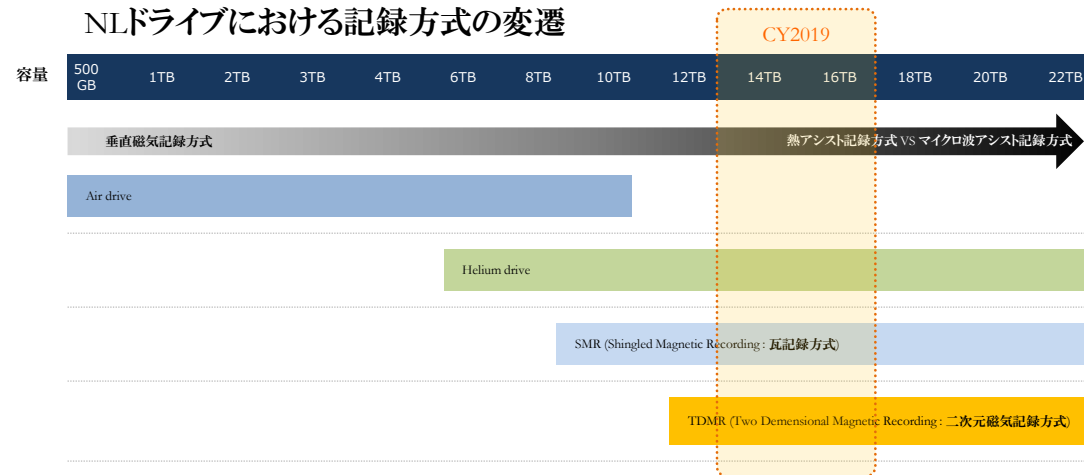
ニアラインドライブと3.5”ATAの比較

	Size	インターフェイス	回転数	平均価格 (CY2018A)	主な容量 (CY2018A)	主な用途
Nearline	3.5” 2.5” (very partly)	SATA/SAS	7,200rpm	約160 US\$	6/8/10/12TB	データセンター
3.5”ATA	3.5”	SATA	7,200/5,900/5,400 rpm	約50 US\$	1/2TB	デスクトップPC ビデオ監視用 ストレージ

GBコストの圧倒的優位性

(出所) テクノ・システム・リサーチ

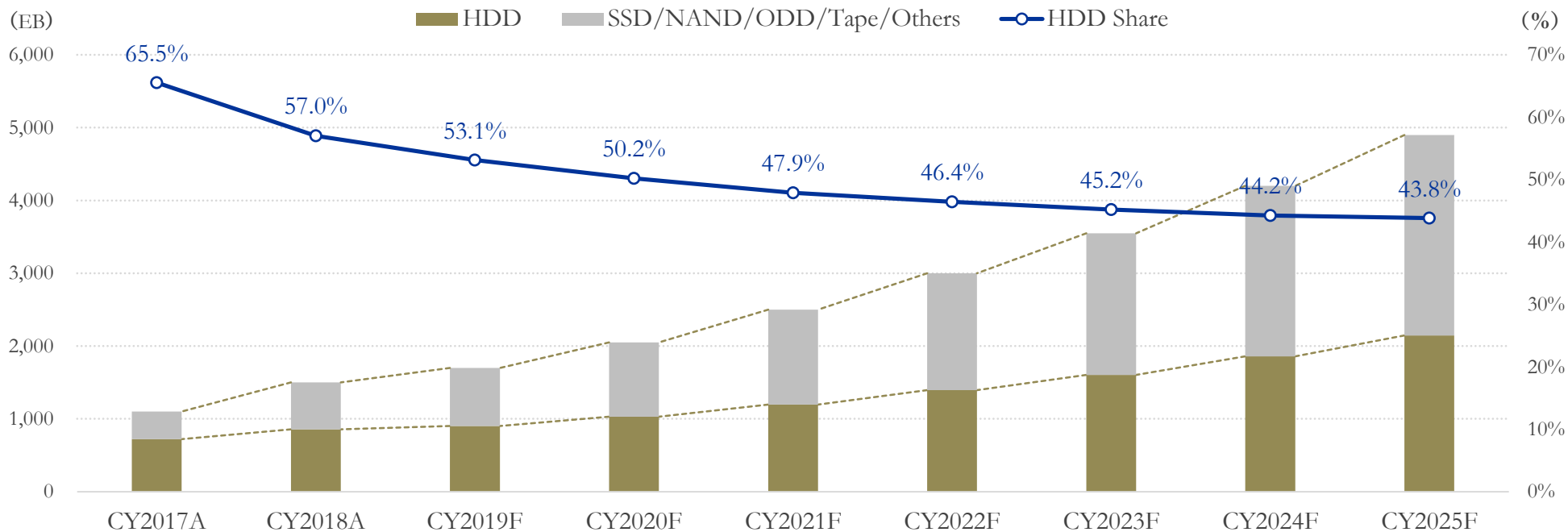
NLドライブにおける記録方式の変遷



(出所) テクノ・システム・リサーチ

データストレージ容量の増加に伴い、HDDの容量需要は堅調に推移。

データストレージの容量需要とHDDの占める割合
単位:EB (エクサバイト=100京バイト)

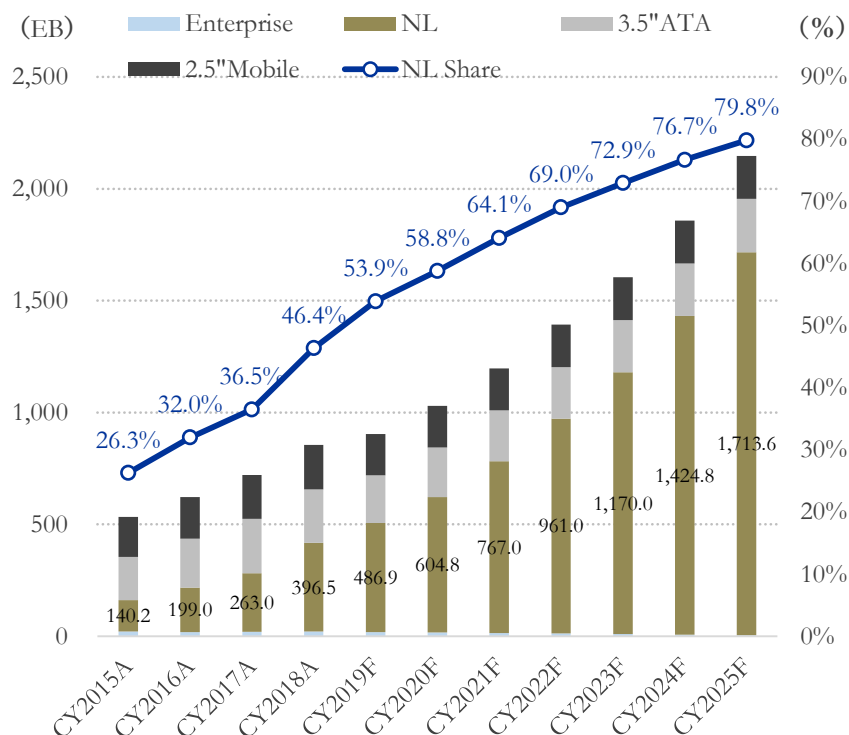


A(実績) / F(予測)

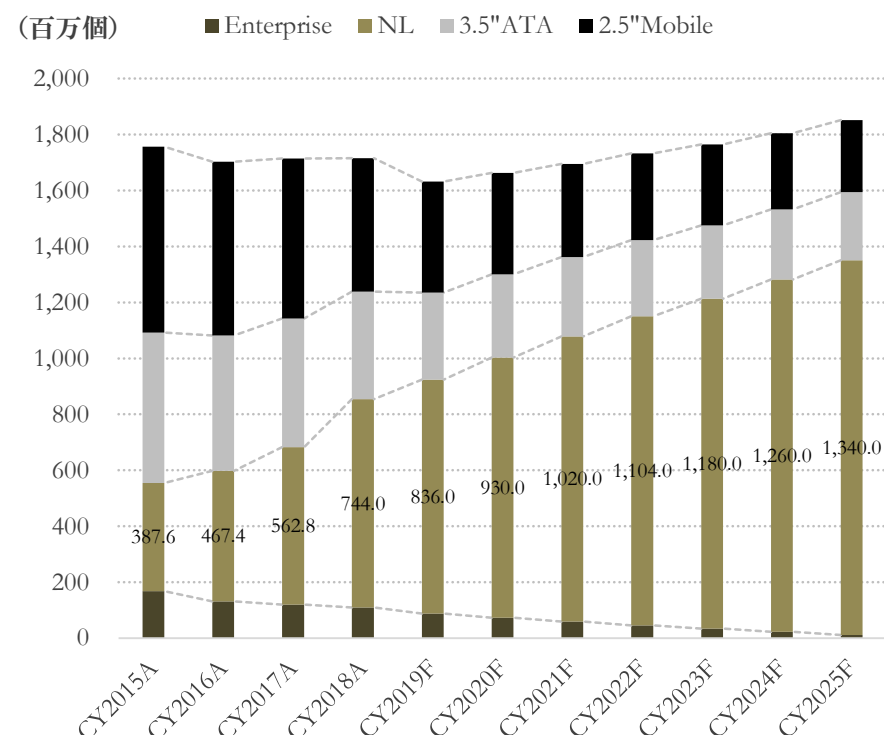
(出所)テクノ・システム・リサーチ

HDDにおけるニアラインドライブの割合は増加傾向にある。

HDDの容量需要とニアラインドライブの占める割合



HGAの出荷数量の推移と予測
(HGA: Head Gimbal Assembly)



A(実績) / F(予測)

(出所) テクノ・システム・リサーチ

業界トレンド、実用化段階に合わせ、 自動車電動化部品の新規商権獲得に向けて活動。

自動車産業メガトレンド“CASE”

コネクティッド
Connected

開発段階
インフラ・技術発展

自動運転
Autonomous

一部実用化
技術開発 / インフラ・法制度整備

シェアリング
Sharing

一部実用化
インフラ整備 / 消費者ニーズ浸透

電動化
Electric

実用化
性能向上 / 部品供給 / インフラ整備

情報量拡大による
将来需要増を予測

HDD用サスペンション

光通信部品

電動化部品

- 大電流バスバー/センサー
- リアクトルコイル
- ステーターコア
- バスリング

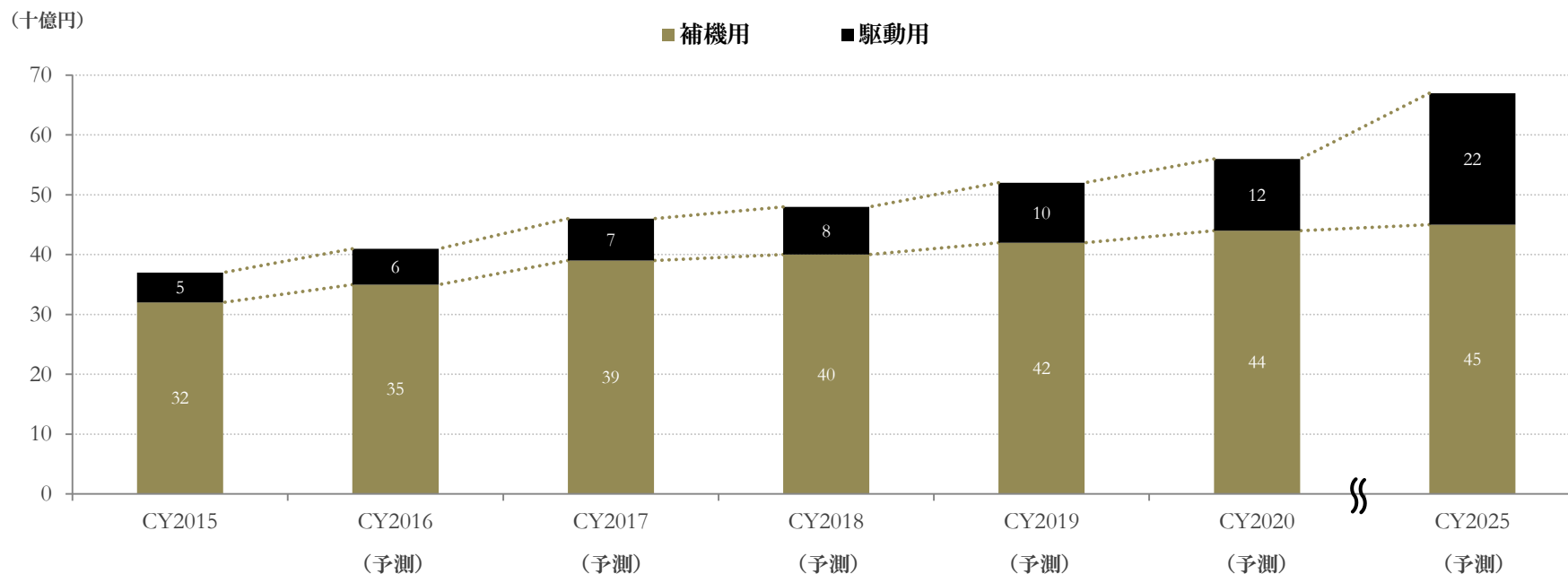
新規商圏獲得に向けた
取り組みを加速

自動車関連

電子情報通信

電動化に伴い需要が増加する車載用電流センサーを 次世代主力事業として育成。

用途別車載電流センサー世界市場の推移と予測

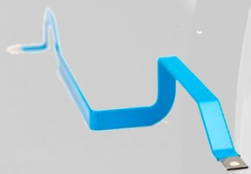


(出所) 矢野経済研究所「車載パワーマネジメントシステム&関連デバイス市場2016」
注: メーカー出荷金額ベース

自動車EV化による大電流用途に対応する製品群の育成に注力。
EV向けその他、産業機器・蓄電池分野での成長にも期待。

自動車電動化部品

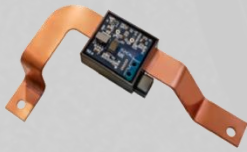
車載・産業機器・エネルギー機器
ユニット配線 電流検出



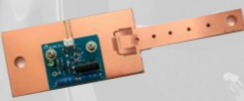
バスバー



シャントオンバスバー



回路付きシャントセンサー



Fuseセンサー

電流センサーの役割と特徴

車載用電流センサのうち、主にシャントセンサーは補機バッテリーに使用。
駆動用バッテリーには1個、インバーターには3~6個の電流センサーが使用される。

	搭載車両		電流検出方法		適用 個数	電流センサの 役割と特徴
	ISS※	HV/ EV	シャント方式	ホール方式		
補機 バッテリー	○	○	○	○	1	● 12V 鉛バッテリーのモニタリングのために電流センサーを使用 ● バッテリー残量、寿命、暗電流の検知を主な目的として電流をモニタリング
駆動用 バッテリー		○		○	1	● xEV駆動用のバッテリーのモニタリングのために電流センサーを使用 ● 精度向上がバッテリー実用範囲の拡大に繋がる
駆動用 インバータ		○		○	3~6	● xEV駆動用のインバーター制御のため、入出力電流をセンシング ● 駆動制御に直接繋がるため、要求される検出制度と応答速度が上記2つより高い

※ISS・・・アイドリングストップシステム

展開活動

第11回 **EV・HEV (EV JAPAN)
駆動システム技術展**

2019年1月 EV・HEV駆動システム技術展 出展
(東京ビッグサイト)



THE BATTERY SHOW
EUROPE 2019

2019年5月 The Battery Show 出展
(Stuttgart Germany)

展開活動

試作品開発、高電流検出実証実験を実施

NITE(独立行政法人/製品評価技術基盤機構)にて実験・評価
高電流実験設備(12,000Aまで出力可)による検出能力評価



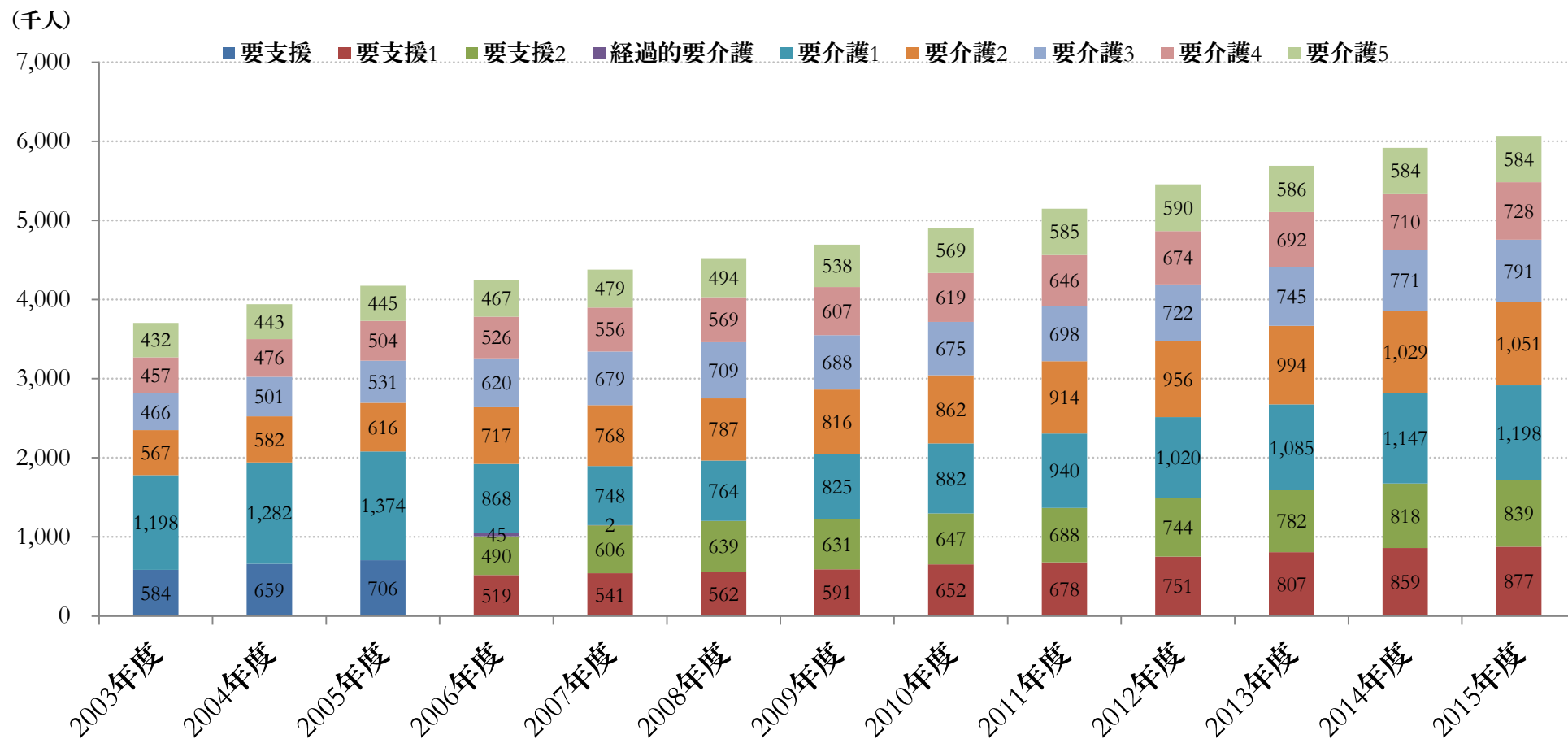
歩行訓練支援機器(装着型アシストロボット)「KAI-R」の拡販と用途拡大を推進。

アイテム名	KAI-R KR-1000
出荷目標	2019年4月～
2019計画台数 / 規模	初年度100台
想定価格	リース販売
販売先	国内リハビリ病院・老健等
進捗状況	2019年3月プレスリリース 拡販活動中 5台内示あり(5月)



重点戦略③ 次世代主力事業の育成と深耕

第1号被保険者(65歳以上)の要介護度別認定者数の推移
～内閣府発表 平成30年版高齢社会白書より～



(出所)内閣府「平成30年版高齢社会白書」“第1章第2節高齢期の暮らしの動向”より引用

歩行支援ロボット開発のロードマップ



脳卒中後の歩行リハビリを補助する リハビリロボット「Orthobot (オルソボット)」上市へ。 2020年3月の発売に向けて取り組みを加速。

※当開発品は当社が参加する京都大学COI(Center Of Innovation)
拠点グループ2で共同開発を行っています。

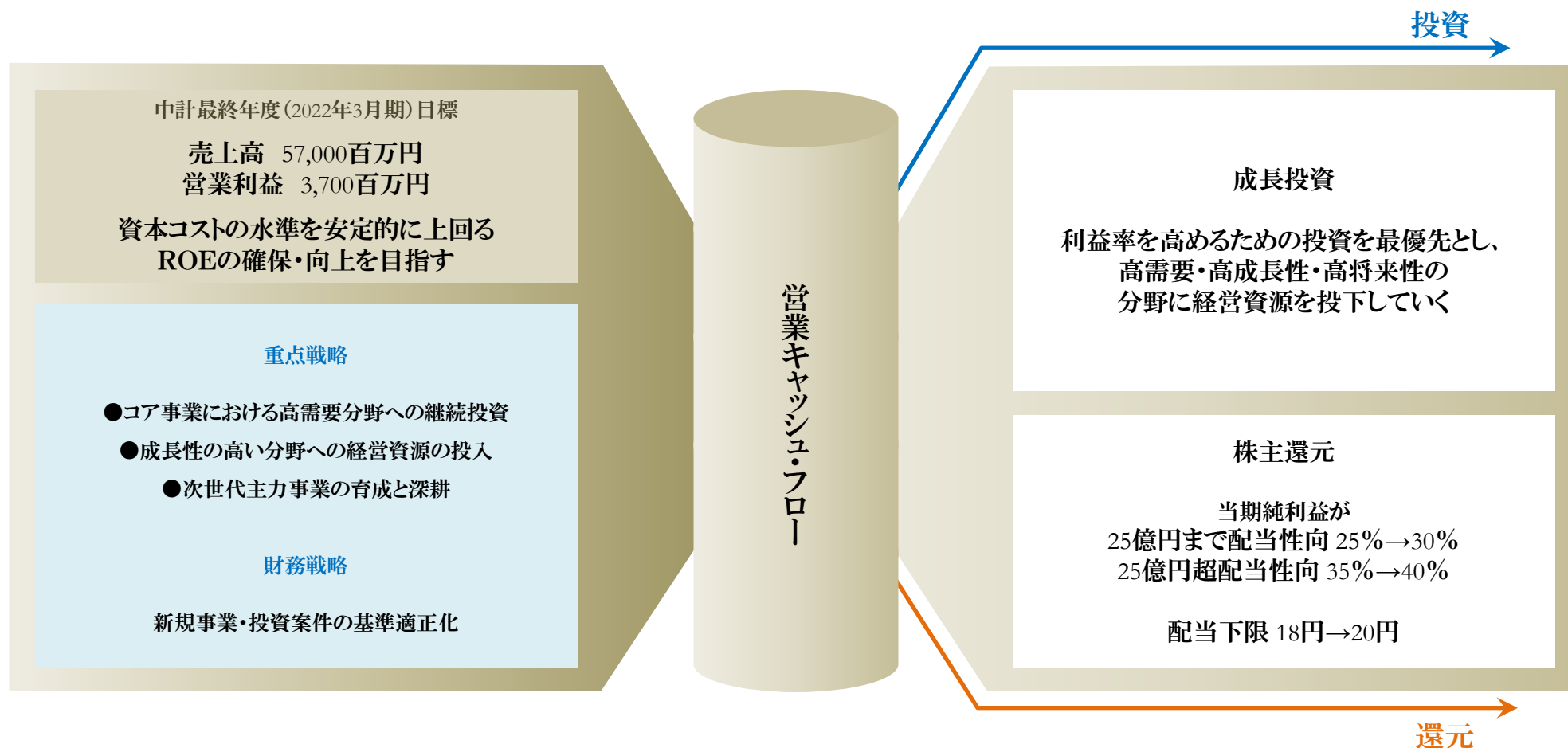
アイテム名	Orthobot 介護機器版
出荷目標	2020年3月～
2020計画台数 / 規模	20台 / 300台/年
想定価格	150万円
2020売上計画	3,000万円
販売先	国内リハビリ病院・老健等
進捗状況	機能確認試作機を開発 ISO13482の対応要否リスト作成中 製品最終仕様検討中



「KAI-R」「Orthobot」展開活動

		開催期間	会場	来場想定者	出展対象
①	日本リハビリテーション医学会 学術集会/ISPRM2019	2019年6月9～16日	神戸コンベンションセンター	※ドクターと理学療法士が中心	KAI-R/Orthobot
②	第35回日本義肢装具学会学術大会	2019年7月13～14日	仙台国際センター		Orthobot
③	第17回 国際義肢装具協会世界大会 介護・ロボット見本市	2019年10月5～8日	神戸コンベンションセンター	医師・義肢装具士・理学療法士	KAI-R/Orthobot
④	第14回日本応用老年学会大会	2019年10月19～20日	京都ノートルダム女子大学		KAI-R/Orthobot
⑤	関東甲信越ブロック理学療法士学会	2019年10月26～27日	群馬ベイシア文化ホール	※埼玉・群馬・栃木の理学療法士 中心の学会	KAI-R
⑥	日本リハビリテーション 医学会学術集会秋季学術集会	2019年11月15～17日	静岡県コンベンションアーツセンター	※ドクターと理学療法士が中心	Orthobot
⑦	2019国際ロボット展	2019年12月18～21日	東京ビッグサイト	各種産業・一般など	KAI-R/Orthobot
⑧	リハビリテーション・ケア合同研究大会	2019年11月21～22日	石川県立音楽堂他		KAI-R/Orthobot
⑨	回復期リハビリテーション病棟協会 第35回 研究大会	2020年3月13～14日	札幌コンベンションセンター	※ドクターと理学療法士が中心	Orthobot

重点戦略③ 企業価値向上に向けた資本政策

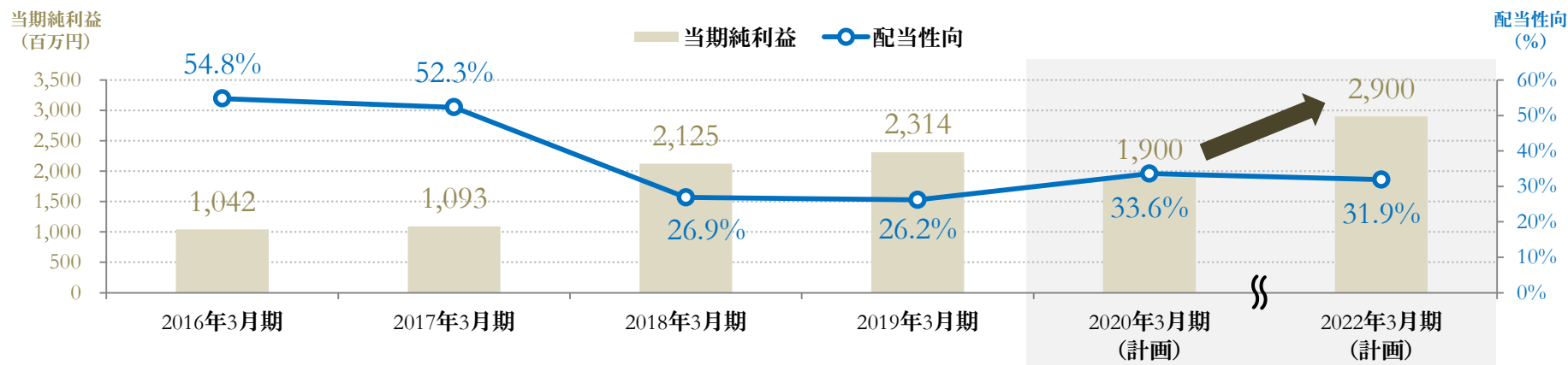


収益に応じた柔軟な資本政策により、継続して安定した配当を目指す。

新中計期間 配当方針

当期純利益が
25億円まで配当性向 25%→30%
25億円超配当性向 35%→40%

配当下限 18円→20円



中間配当	8円	8円	8円	8円	9円	9円
期末配当	10円	10円	10円	11円	11円	20円
年間配当合計	18円	18円	18円	19円	20円	29円

2020年3月期 業績予想

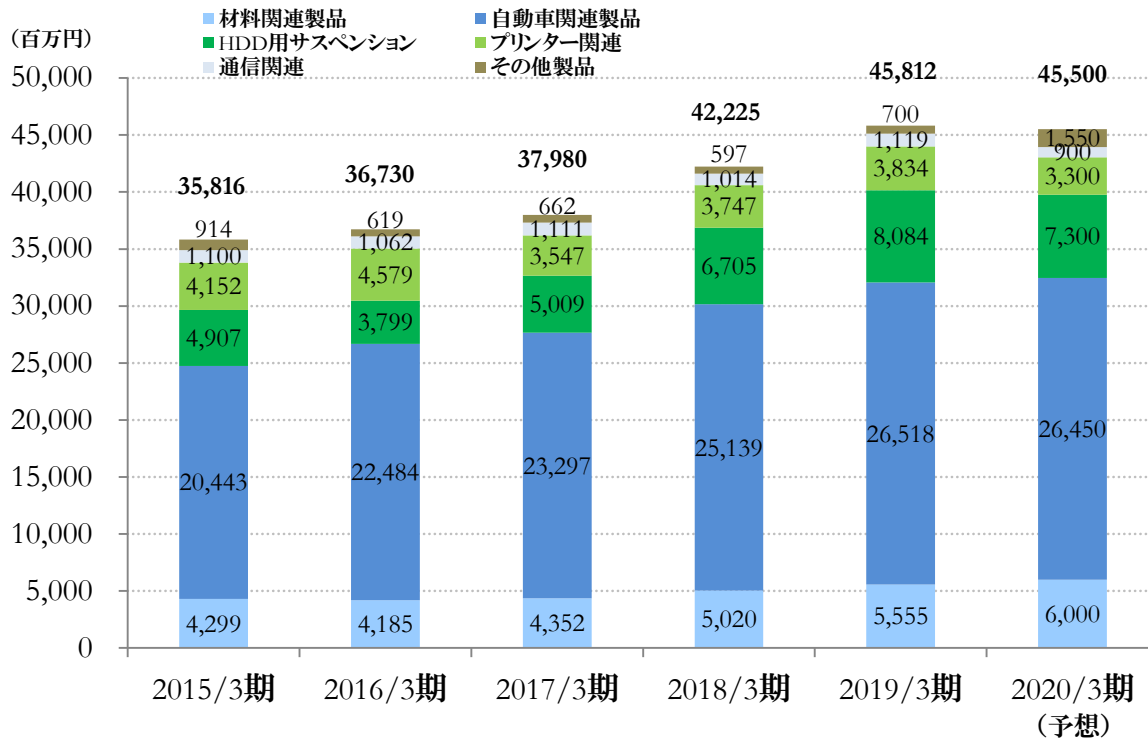
Earnings Forecast

2020年3月期 業績見通し(連結)

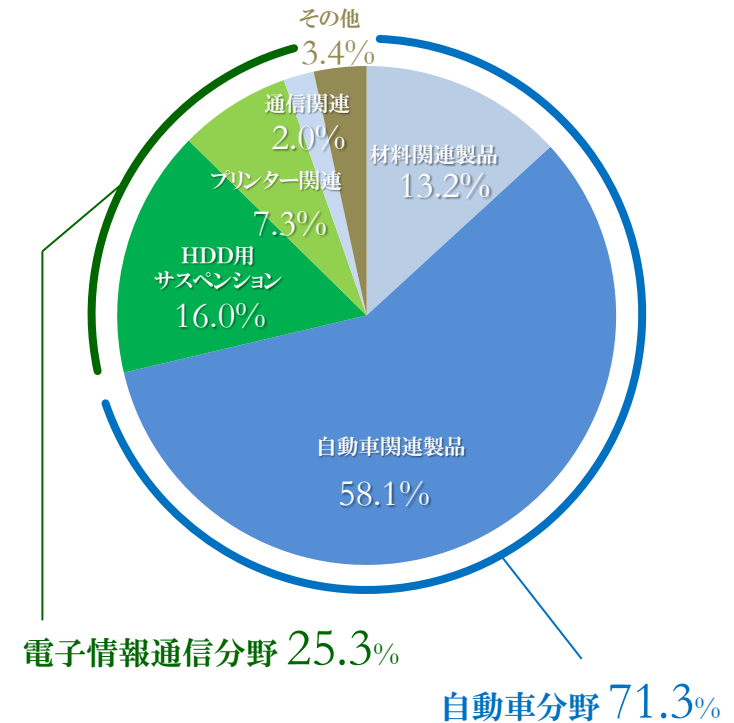
(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期		
	実績	予想	前期比増減額	前期比増減率
売上高	45,812	45,500	△312	△0.7%
営業利益	3,384	2,600	△784	△23.2%
経常利益	3,557	2,500	△1,057	△29.7%
当期純利益	2,314	1,900	△414	△17.9%
一株当たり利益	72.59円	59.52円	△13.07	△18.0%
平均為替レート				
円 / USD	110.91円	108.00円	-	-
円 / EURO	128.40円	130.00円		

2020年3月期 製品区分別売上高の見通し

製品区分別連結売上高の推移



製品区分別連結売上高構成比(2020/3期予想)



POINT

- 自動車分野 : 中国等の景気後退の影響
- 電子情報通信分野 : HDD用サスペンションはデータセンター需要回復遅れの影響

コーポレート ガバナンス

Corporate Governance

経営の客観性・透明性を確保し、
取締役会の監督機能向上、コーポレート・ガバナンス機能の更なる充実を図る。

コーポレートガバナンス体制図



【ご注意】

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

